

# 平成 29 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鳥取県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	厚生病院	3
鳥取市	市立病院	4
岩美町	国保岩美病院	5
智頭町	国保智頭病院	6
南部町	西伯病院	7
日南町	日南町国民健康保険 日南病院	8
日野病院組合	日野病院	9

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 29 年度 )</b>				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,193 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	417	90.4	91.5	91.8
療養	-	-	-	-
結核	10	19.9	5.2	14.3
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	431	87.9	88.6	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.2	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	573,441	
決算規模(千円)	359,247,009	
標準財政規模(千円)	212,575,935	
財政力指数	0.27262	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	119.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.4
修正医業収支金額(千円)	12,437,006

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,203,068			
1 経常収益	14,102,214			
(1) 医業収益	12,752,434			
入院収益	9,136,585			
外来収益	3,031,518			
診療収入計	12,168,103			
その他医業収益	584,331			
(うち他会計負担金)	315,428			
(2) 医業外収益	1,349,780			
(うち国・都道府県補助金)	65,008			
(うち他会計補助・負担金)	758,752			
(うち長期前受金戻入)	351,337			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100,854			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,932,576			
2 経常費用	13,571,477			
(1) 医業費用	13,034,081			
職員給与費	6,231,672	48.9	55.9	55.2
材料費	3,851,075	30.2	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,648,717	12.9	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,108,768	16.5	11.1	12.3
減価償却費	668,773	5.2	9.2	8.5
経費	2,217,238	17.4	23.2	19.0
(うち委託料)	838,878	6.6	11.2	9.1
研究研修費	55,050			
資産減耗費	10,273			
(2) 医業外費用	537,396			
(うち支払利息)	59,145	0.5	1.7	1.6
(3) 特別損失	361,099			
損益				
経常損益	530,737			
純損益	270,492			
累積欠損金	1,000,348			
経常収支比率	103.9		98.0	98.4
医業収支比率	97.8		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	7.6		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	96.0		85.9	88.5

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,808,268
1 固定資産	24,369,727
(1) 有形固定資産	23,150,609
(2) 無形固定資産	92,281
(3) 投資その他の資産	1,126,837
2 流動資産	15,438,541
(1) 現金及び預金	11,449,246
(2) 未収金及び未収収益	3,842,192
(3) 貸倒引当金( )	15,531
(4) 貯蔵品	150,634
3 繰延資産	-
負債合計	29,163,860
1 固定負債	19,893,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,998,803
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,870,398
(7) リース債務	24,532
2 流動負債	5,424,707
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,500,578
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	522,912
(6) リース債務	10,685
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,281,224
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,845,420
(1) 長期前受金	11,462,587
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,617,167
資本合計	10,644,408
1 資本金	16,630,180
2 剰余金	-5,985,772
(1) 資本金剰余金	9,946
(2) 利益剰余金	-5,995,718
負債・資本合計	39,808,268
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,943,667	1,074,180
資本勘定繰入	536,077	559,655
計	2,479,744	1,633,835

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(29年度)</b>				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	
				病院名	厚生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,433 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	300	83.4	84.3	84.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	82.3	83.2	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.6	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	573,441	
決算規模(千円)	359,247,009	
標準財政規模(千円)	212,575,935	
財政力指数	0.27262	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.6
	将来負担比率(%)	119.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収支金額(千円)	6,221,783

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,310,140			
1 経常収益	7,269,994			
(1) 医業収益	6,315,396			
入院収益	4,444,692			
外来収益	1,605,880			
診療収入計	6,050,572			
その他医業収益	264,824			
(うち他会計負担金)	93,613			
(2) 医業外収益	954,598			
(うち国・都道府県補助金)	31,042			
(うち他会計補助・負担金)	485,443			
(うち長期前受金戻入)	330,953			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40,146			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,654,230			
2 経常費用	7,318,716			
(1) 医業費用	6,953,487			
職員給与費	3,534,128	56.0	55.9	56.9
材料費	1,277,901	20.2	24.0	24.2
(うち薬品費)	648,225	10.3	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	629,699	10.0	11.1	11.7
減価償却費	643,392	10.2	9.2	9.5
経費	1,475,498	23.4	23.2	21.8
(うち委託料)	710,144	11.2	11.2	10.7
研究研修費	19,887			
資産減耗費	2,681			
(2) 医業外費用	365,229			
(うち支払利息)	100,942	1.6	1.7	1.8
(3) 特別損失	335,514			
損益				
経常損益	-48,722			
純損益	-344,090			
累積欠損金	4,995,370			
経常収支比率	99.3		98.0	96.3
医業収支比率	90.8		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	91.4		85.9	85.4

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,808,268
1 固定資産	24,369,727
(1) 有形固定資産	23,150,609
(2) 無形固定資産	92,281
(3) 投資その他の資産	1,126,837
2 流動資産	15,438,541
(1) 現金及び預金	11,449,246
(2) 未収金及び未収収益	3,842,192
(3) 貸倒引当金( )	15,531
(4) 貯蔵品	150,634
3 繰延資産	-
負債合計	29,163,860
1 固定負債	19,893,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,998,803
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,870,398
(7) リース債務	24,532
2 流動負債	5,424,707
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,500,578
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	522,912
(6) リース債務	10,685
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,281,224
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,845,420
(1) 長期前受金	11,462,587
(2) 長期前受金収益化累計額( )	7,617,167
資本合計	10,644,408
1 資本金	16,630,180
2 剰余金	-5,985,772
(1) 資本金剰余金	9,946
(2) 利益剰余金	-5,995,718
負債・資本合計	39,808,268
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	938,597	579,056
資本勘定繰入	320,667	300,737
計	1,259,264	879,793

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	31.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(29年度)</b>				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	鳥取市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,839 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ地輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	340	75.5	81.0	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	340	75.5	81.0	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.5	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	193,717	
決算規模(千円)	100,736,674	
標準財政規模(千円)	50,211,523	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	68.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.9
修正医業収支金額(千円)	6,640,790

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,580,277			
1 経常収益	7,550,072			
(1) 医業収益	6,838,777			
入院収益	4,667,777			
外来収益	1,598,691			
診療収入計	6,266,468			
その他医業収益	572,309			
(うち他会計負担金)	197,987			
(2) 医業外収益	711,295			
(うち国・都道府県補助金)	22,119			
(うち他会計補助・負担金)	451,086			
(うち長期前受金戻入)	118,118			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,205			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,187,252			
2 経常費用	8,186,962			
(1) 医業費用	7,734,566			
職員給与費	4,352,484	63.6	55.9	56.9
材料費	1,535,700	22.5	24.0	24.2
(うち薬品費)	651,447	9.5	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	838,500	12.3	11.1	11.7
減価償却費	593,177	8.7	9.2	9.5
経費	1,085,005	15.9	23.2	21.8
(うち委託料)	653,137	9.6	11.2	10.7
研究研修費	164,371			
資産減耗費	3,829			
(2) 医業外費用	452,396			
(うち支払利息)	207,421	3.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	290			
損益				
経常損益	-636,890			
純損益	-606,975			
累積欠損金	9,303,060			
経常収支比率	92.2		98.0	96.3
医業収支比率	88.4		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	84.3		85.9	85.4

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,564,627
1 固定資産	8,050,945
(1) 有形固定資産	7,944,835
(2) 無形固定資産	5,127
(3) 投資その他の資産	100,983
2 流動資産	3,513,682
(1) 現金及び預金	955,437
(2) 未収金及び未収収益	1,293,385
(3) 貸倒引当金( )	7,050
(4) 貯蔵品	65,961
3 繰延資産	-
負債合計	8,646,130
1 固定負債	6,609,625
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,387,977
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,184,893
(7) リース債務	36,755
2 流動負債	1,713,452
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	954,851
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	273,024
(6) リース債務	69,304
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	381,011
(9) 前受金及び前受収益	1,687
3 繰延収益	323,053
(1) 長期前受金	1,044,993
(2) 長期前受金収益化累計額( )	721,940
資本合計	2,918,497
1 資本金	12,221,557
2 剰余金	-9,303,060
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,303,060
負債・資本合計	11,564,627
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	645,387	649,073
資本勘定繰入	620,575	655,969
計	1,265,962	1,305,042

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	鳥取県
	市町村・組合名	岩美町
	病院名	国保岩美病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	60	86.9	89.9	89.7
療養	50	89.4	89.0	87.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	88.0	89.5	88.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.2	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	11,485	
決算規模(千円)	7,362,288	
標準財政規模(千円)	4,121,561	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	87.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	47.7

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,582 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.2
修正医業収支金額(千円)	1,716,143

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,019,065			
1 経常収益	2,019,065			
(1) 医業収益	1,760,627			
入院収益	807,574			
外来収益	830,798			
診療収入計	1,638,372			
その他医業収益	122,255			
(うち他会計負担金)	44,484			
(2) 医業外収益	258,438			
(うち国・都道府県補助金)	3,110			
(うち他会計補助・負担金)	220,562			
(うち長期前受金戻入)	24,055			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,042,500			
2 経常費用	2,042,500			
(1) 医業費用	1,923,391			
職員給与費	1,013,347	57.6	55.9	59.8
材料費	407,786	23.2	24.0	17.7
(うち薬品費)	329,712	18.7	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	74,865	4.3	11.1	8.0
減価償却費	168,756	9.6	9.2	10.4
経費	330,425	18.8	23.2	31.2
(うち委託料)	142,608	8.1	11.2	12.8
研究研修費	2,093			
資産減耗費	984			
(2) 医業外費用	119,109			
(うち支払利息)	63,998	3.6	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-23,435			
純損益	-23,435			
累積欠損金	967,891			
経常収支比率	98.9		98.0	96.3
医業収支比率	91.5		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	85.9		85.9	81.0

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,167,470
1 固定資産	3,810,582
(1) 有形固定資産	3,790,632
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	19,950
2 流動資産	1,356,888
(1) 現金及び預金	1,068,782
(2) 未収金及び未収収益	261,742
(3) 貸倒引当金( )	123
(4) 貯蔵品	26,487
3 繰延資産	-
負債合計	3,723,165
1 固定負債	3,146,922
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,146,922
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	404,200
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	223,625
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,182
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	116,078
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	172,043
(1) 長期前受金	345,866
(2) 長期前受金収益化累計額( )	173,823
資本合計	1,444,305
1 資本金	2,412,196
2 剰余金	-967,891
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-967,891
負債・資本合計	5,167,470
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	233,222	265,046
資本勘定繰入	101,400	101,400
計	334,622	366,446

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	鳥取県
	市町村・組合名	智頭町
	病院名	国保智頭病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	12,639 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	11	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	52	95.6	91.1	89.0
療養	47	99.2	88.1	95.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	97.3	89.7	91.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.3	19.9	21.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,154	
決算規模(千円)	5,707,626	
標準財政規模(千円)	3,505,696	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	93.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.6
修正医業収支金額(千円)	1,239,707

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,812,037			
1 経常収益	1,812,037			
(1) 医業収益	1,253,757			
入院収益	747,881			
外来収益	388,239			
診療収入計	1,136,120			
その他医業収益	117,637			
(うち他会計負担金)	14,050			
(2) 医業外収益	558,280			
(うち国・都道府県補助金)	30,945			
(うち他会計補助・負担金)	286,120			
(うち長期前受金戻入)	25,028			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,798,833			
2 経常費用	1,743,138			
(1) 医業費用	1,465,308			
職員給与費	823,788	65.7	55.9	69.4
材料費	181,294	14.5	24.0	17.1
(うち薬品費)	72,600	5.8	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,378	6.9	11.1	5.8
減価償却費	133,965	10.7	9.2	11.6
経費	322,545	25.7	23.2	31.2
(うち委託料)	145,657	11.6	11.2	12.1
研究研修費	2,939			
資産減耗費	777			
(2) 医業外費用	277,830			
(うち支払利息)	67,545	5.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	55,695			
損益				
経常損益	68,899			
純損益	13,204			
累積欠損金	3,050,957			
経常収支比率	104.0		98.0	98.0
医業収支比率	85.6		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	86.7		85.9	75.8

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,629,603
1 固定資産	4,094,299
(1) 有形固定資産	4,088,194
(2) 無形固定資産	1,305
(3) 投資その他の資産	4,800
2 流動資産	535,304
(1) 現金及び預金	300,791
(2) 未収金及び未収収益	234,728
(3) 貸倒引当金( )	2,811
(4) 貯蔵品	2,015
3 繰延資産	-
負債合計	4,235,993
1 固定負債	3,391,724
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,145,832
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	239,928
(7) リース債務	415
2 流動負債	363,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,127
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	43,491
(6) リース債務	1,245
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	103,675
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	481,152
(1) 長期前受金	583,047
(2) 長期前受金収益化累計額( )	101,895
資本合計	393,610
1 資本金	3,402,595
2 剰余金	-3,008,985
(1) 資本金剰余金	41,972
(2) 利益剰余金	-3,050,957
負債・資本合計	4,629,603
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300,170	300,170
資本勘定繰入	138,385	138,385
計	438,555	438,555

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	243.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	鳥取県
	市町村・組合名	南部町
	病院名	西伯病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	15,798 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	11	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	49	83.0	84.4	81.8
療養	50	86.6	89.2	86.1
結核	-	-	-	-
精神	99	87.1	85.5	88.6
感染症	-	-	-	-
計	198	86.0	86.2	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.2	18.7	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	10,950	
決算規模(千円)	6,957,978	
標準財政規模(千円)	4,354,648	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.8
	将来負担比率(%)	17.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.0
修正医業収支金額(千円)	1,872,155

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,391,209			
1 経常収益	2,391,209			
(1) 医業収益	1,914,836			
入院収益	1,271,258			
外来収益	491,346			
診療収入計	1,762,604			
その他医業収益	152,232			
(うち他会計負担金)	42,681			
(2) 医業外収益	476,373			
(うち国・都道府県補助金)	8,572			
(うち他会計補助・負担金)	378,299			
(うち長期前受金戻入)	55,746			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,460,700			
2 経常費用	2,428,465			
(1) 医業費用	2,311,379			
職員給与費	1,330,679	69.5	55.9	94.3
材料費	200,087	10.4	24.0	8.8
(うち薬品費)	143,288	7.5	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,799	3.0	11.1	1.1
減価償却費	174,532	9.1	9.2	12.6
経費	599,752	31.3	23.2	33.3
(うち委託料)	224,659	11.7	11.2	16.0
研究研修費	5,847			
資産減耗費	482			
(2) 医業外費用	117,086			
(うち支払利息)	67,260	3.5	1.7	3.4
(3) 特別損失	32,235			
損益				
経常損益	-37,256			
純損益	-69,491			
累積欠損金	1,061,581			
経常収支比率	98.5		98.0	100.2
医業収支比率	82.8		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	17.6		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.0		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	17.6		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	81.1		85.9	66.5

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,794,325
1 固定資産	3,380,107
(1) 有形固定資産	3,373,977
(2) 無形固定資産	650
(3) 投資その他の資産	5,480
2 流動資産	414,218
(1) 現金及び預金	103,879
(2) 未収金及び未収収益	292,900
(3) 貸倒引当金( )	3,046
(4) 貯蔵品	20,485
3 繰延資産	-
負債合計	3,719,989
1 固定負債	3,025,463
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,025,463
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	384,308
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	209,382
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	88,062
(6) リース債務	933
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	74,272
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,218
(1) 長期前受金	638,033
(2) 長期前受金収益化累計額( )	327,815
資本合計	74,336
1 資本金	788,861
2 剰余金	-714,525
(1) 資本金剰余金	327,640
(2) 利益剰余金	-1,042,165
負債・資本合計	3,794,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	387,566	420,980
資本勘定繰入	118,836	101,010
計	506,402	521,990

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 29 年度 )</b>				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	日南町
				病院名	日南町国民健康保険 日南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,645 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	59	63.8	58.7	68.0
療養	40	68.4	70.8	65.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	65.7	63.6	67.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	14.7	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	4,765	
決算規模(千円)	6,663,361	
標準財政規模(千円)	3,313,365	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.0
修正医業収支金額(千円)	726,825

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,052,573			
1 経常収益	1,052,573			
(1) 医業収益	781,866			
入院収益	462,848			
外来収益	213,617			
診療収入計	676,465			
その他医業収益	105,401			
(うち他会計負担金)	55,041			
(2) 医業外収益	270,707			
(うち国・都道府県補助金)	2,928			
(うち他会計補助・負担金)	240,065			
(うち長期前受金戻入)	12,990			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,085,006			
2 経常費用	1,085,006			
(1) 医業費用	1,052,612			
職員給与費	595,566	76.2	55.9	69.4
材料費	76,027	9.7	24.0	17.1
(うち薬品費)	38,507	4.9	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,520	4.8	11.1	5.8
減価償却費	95,836	12.3	9.2	11.6
経費	278,389	35.6	23.2	31.2
(うち委託料)	83,430	10.7	11.2	12.1
研究研修費	4,031			
資産減耗費	2,763			
(2) 医業外費用	32,394			
(うち支払利息)	8,591	1.1	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-32,433			
純損益	-32,433			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.0		98.0	98.0
医業収支比率	74.3		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	28.0		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	37.7		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	28.0		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	69.8		85.9	75.8

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,275,915
1 固定資産	970,051
(1) 有形固定資産	864,626
(2) 無形固定資産	652
(3) 投資その他の資産	104,773
2 流動資産	2,305,864
(1) 現金及び預金	2,164,029
(2) 未収金及び未収収益	138,541
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	3,294
3 繰延資産	-
負債合計	803,367
1 固定負債	588,413
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	563,957
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,456
(7) リース債務	-
2 流動負債	144,905
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,711
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,316
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,378
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	70,049
(1) 長期前受金	270,142
(2) 長期前受金収益化累計額( )	200,093
資本合計	2,472,548
1 資本金	843,075
2 剰余金	1,629,473
(1) 資本剰余金	25,444
(2) 利益剰余金	1,604,029
負債・資本合計	3,275,915
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,106	295,106
資本勘定繰入	58,936	27,428
計	354,042	322,534

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (29年度)	都道府県名	鳥取県
	市町村・組合名	日野病院組合
	病院名	日野病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	8,247 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ輪
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	99	81.7	80.9	72.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	81.7	80.9	72.1
平均在院日数(一般病床のみ)		32.4	31.4	33.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.9
修正医業収支金額(千円)	1,420,192

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,835,257			
1 経常収益	1,835,257			
(1) 医業収益	1,531,160			
入院収益	921,689			
外来収益	428,622			
診療収入計	1,350,311			
その他医業収益	180,849			
(うち他会計負担金)	110,968			
(2) 医業外収益	304,097			
(うち国・都道府県補助金)	1,974			
(うち他会計補助・負担金)	230,183			
(うち長期前受金戻入)	32,016			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,703,464			
2 経常費用	1,703,464			
(1) 医業費用	1,633,384			
職員給与費	854,210	55.8	55.9	69.4
材料費	254,845	16.6	24.0	17.1
(うち薬品費)	131,251	8.6	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	122,891	8.0	11.1	5.8
減価償却費	123,243	8.0	9.2	11.6
経費	393,377	25.7	23.2	31.2
(うち委託料)	131,623	8.6	11.2	12.1
研究研修費	5,673			
資産減耗費	2,036			
(2) 医業外費用	70,080			
(うち支払利息)	24,743	1.6	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	131,793			
純損益	131,793			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.7		98.0	98.0
医業収支比率	93.7		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.3		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	87.7		85.9	75.8

備考：  
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,154,865
1 固定資産	1,971,121
(1) 有形固定資産	1,971,121
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,183,744
(1) 現金及び預金	904,604
(2) 未収金及び未収収益	252,396
(3) 貸倒引当金( )	762
(4) 貯蔵品	8,470
3 繰延資産	-
負債合計	2,282,608
1 固定負債	1,532,532
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,229,167
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	303,365
(7) リース債務	-
2 流動負債	346,411
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	129,410
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,745
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,428
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	403,665
(1) 長期前受金	701,708
(2) 長期前受金収益化累計額( )	298,043
資本合計	872,257
1 資本金	454,219
2 剰余金	418,038
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	418,038
負債・資本合計	3,154,865
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	425,620	341,151
資本勘定繰入	90,247	-
計	515,867	341,151

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。